



ビブリオバトルに挑戦しよう!

ビブリオバトルの魅力って? ~ ビブリオバトルをやると、こんないいことがあります!

自分のお気に入りの本をみんなに知ってもらい喜びがあり、他の人の紹介を聞いて今まで知らなかった新たな本との出会いがあります。

人前で話す練習になるので、就職や進学の面接に役立ちます。

何を伝えたいのか、発表する内容を考えているうちに、本の内容をもっと知ることができ、読書がより深まります。

どうすれば聞いている人の心をつかめるかを考えるようになるので、プレゼン力の向上につながり、語彙力が身に付きます。

発表者の個性が出るので、その人の性格や意外な一面を知ることができます。

昨年の第1回ビブリオバトルの様子



最近では、AO入試などでビブリオバトルを取り入れている大学もあります!



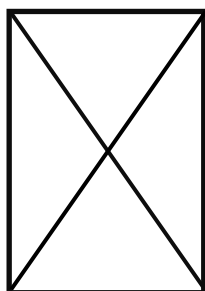
第1回ビブリオバトルは、
7月9日(月) 15時45分~
図書館で行います。

チャンプ本を紹介したバトルーにはささやかな賞品があります。

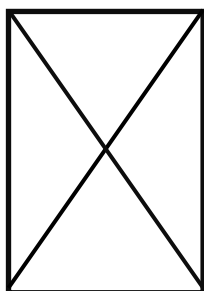
観戦だけの参加もOK!

友達を誘って気軽に参加してください。観戦は申込み不要。

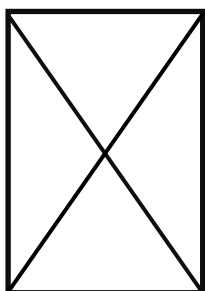
これまで6回行われたビブリオバトルのチャンプ本



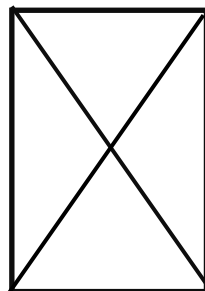
『アリス殺し』
小林泰三 著



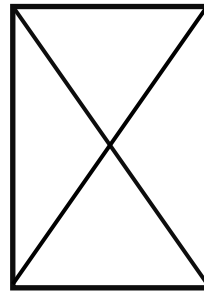
『ぼくは明日、昨日の
きみとデートする』
七月隆文 著



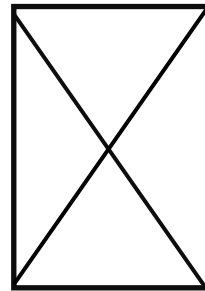
『コンビニ人間』
村田沙耶香 著



『浜村渚の計算
ノート』
青柳碧人 著



『三日間の幸福』
三秋縋 著



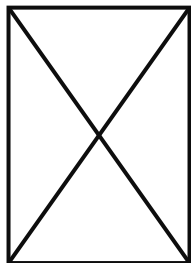
『錬金術師ニコラ
・フラメル』
M.スコット著

図書委員のおすすめ

3B 加賀谷 陽明 さん

『マンガ古典文学 古事記』(里中満智子) …原文では難しい古事記ですが、マンガで分かりやすく書かれている本です。日本の歴史(神話)を楽しく読めます。

加賀谷さんから ~ 県立図書館から来ている 工業系のセット「ものづくり・いろいろ」はいいですよ！自分は3冊借りました。

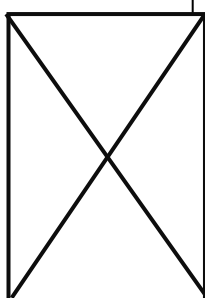


2E 奈良 藍那 さん

『新釈 走れメロス 他四篇』(森見登美彦) …太宰治の書いた「走れメロス」を森見登美彦さんが独自の解釈でおもしろく書いたものです。「真の友情」とはなにかを原作と読み比べながら考えるのもこの本の魅力の一つなので、そこに注目しながら読んでみて下さい。

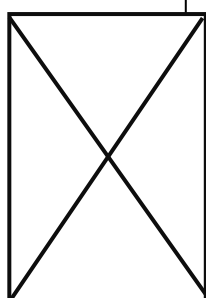
県立図書館のセット貸出図書より 海外古典SF小説の名作を読もう！

前回の「図書館だより No. 4」で紹介した県立図書館からのセット貸出図書「非日常—空想と現実—(日本と海外のSF小説)」の中には、司書もおすすめる海外古典SF小説の名作がそろっています。この機会に、ぜひ読んでみて下さい。



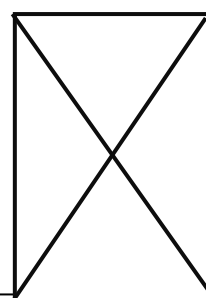
『われはロボット』

アイザック・アシモフ
「ロボット工学三原則」を提唱した巨匠による作品集。ミステリーの要素もあり、グイグイ読ませる傑作。



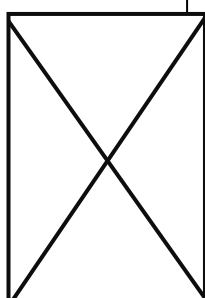
『星を継ぐもの』

J. P. ホーガン著
月面で発見した5万年前の死体には、驚くべき事実が隠されていた！
現代ハードSFの原点となった長編。



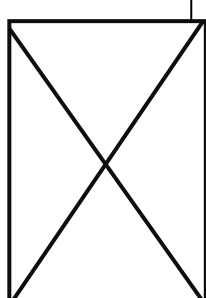
『たんぽぽ娘』

R. F. ヤング著
未来から来た少女との甘い出会い、そして時を超える愛。
『ビブリア古書堂の事件手帖』にも登場した名作。



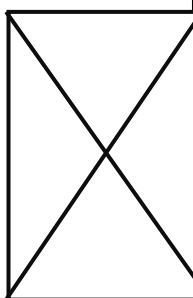
『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』

P. K. ディック
人間とは？生命とは？と深く考えさせる作品。映画「ブレードランナー」の原作。



『夏への扉』

R. A. ハインライン著
「冷凍睡眠」により夏への扉を探す主人公の、何度転ぼうが、困難に立ち向かっていく姿に勇気もらえる永遠の名作。



『華氏451度』

レイ・ブラットベリ著
華氏451度は書物の紙が引火し燃える温度。本が忌むべき禁制品となった未来を舞台に、現代文明を鋭く風刺した作品。

1. 2年の学年ホールに図書コーナー設置！

7月9日から1, 2年の学年ホールに図書コーナーを設置します。県立図書館から借り受けた本を展示して貸出ます。借りる時は貸出簿(シート)に記入するだけ。立ち読みもOKです。気軽に利用してください。ただし、本は大切に扱ってください。図書委員が定期的にチェックします